

英語教育強化推進事業

英語教育強化地域拠点事業

事業の目的

小学校英語教育の早期化・教科化、中学校・高等学校英語の指導内容の高度化に関する研究開発に取り組み、学習指導要領改訂のための資料を収集する。

平成26年度研究発表校

宮代町立東小学校

研究主題

生きる力を身につけ、未来を拓く東の子の育成
～ コミュニケーション能力を育む指導のあり方を求めて
(外国語活動・英語教育を中心として) ～

めざす児童像

「ふれる・なれる・したしむ」を通して、なかまとともに伸びていく子
低学年・・・英語の音声にふれ、興味をもって活動する子
中学年・・・歌やゲームを通して、英語の音やリズムに慣れる子
高学年・・・ことばの学びを楽しみながら、積極的に自分の思いや考えを
伝え合おうとする子

研究仮説

学級経営を基盤とした「人・もの・自分とのかかわり」に着目した、学習活動を意図的・計画的に展開すれば、コミュニケーション能力を育むことができるであろう。

<3つの柱>

- 柱1 「学び合い」を通して、「気づき」のある学習展開
- 柱2 認め合い・相手を感じ取る活動場面の設定
- 柱3 日本人としてのアイデンティティに関する内容の設定

研究の内容



3年生の授業



5年生の授業

Higashi & Kasahara English Lesson Report

October 30, 2019 No.6 written by Tetsushi

Children begin to make English sentences.
～子どもたちは自分で話したいことを生み出し始めました～

「言葉は文法を伝える。私たちは、「文法を学び、英文をその文法にのっかって作り、音声を掛けて伝える」と思いがけず、しかし、音声を伝えることは学びが起きている子どもたちには、文法を教えることがありません。それで子どもたちは自分たちで文法を作っていくとし始めています。単語レベルではなく、ことばを前向きに探求している子どもたちにとって「What color do you like?」は5つの単語から構成されていることばという意識はありません。「What?」「like」だけで何がわかるのかという感覚が湧いてきます。「何」を探求したい気持ちも「What?」が聞こえる～という感覚が湧いてきます。先日、「どっちが好き?」と聞かされて、どっちで答えるのか「Which?」でどっちのなまえを入れて答え、「Which do you like?」と聞いては答えられませんでした。これはで児童が自分で発音できることばを英語で話している状態が、だから、児童が自らことばを作っていくとしたその発音が付随していきことになるのだと感じています。今日の様子です。

①今日は〇〇さんらしい質問しよう? ②「I like oranges.」 ③「Which do you like the island or the town in 「アイランドの島」?」 ④「I like ~town.」 ⑤「I like oranges?」 ⑥「Why do you like oranges?」 ⑦「You play baseball.」 ⑧「ええと...」(日本語で)

⑨「You play baseball.」 Do you have a? 「はいいいえ」? ⑩「You play baseball.」 「ええと...」 (日本語で) 「You had a past experience from baseball?」です。

昨日、学級大会前日の練習生に「All English」と言う日本語に、英語と日本語をミックスして伝えることが大で、実際に日本語を少なくていいようにしたいとよい」といふような発言がありました。子どもたちは自然にそれを自分で行っています。

Please look at the lessons (授業の様子) written by Nishizawa~

<1年生> 外国語活動 「I like~」
自分の好きなものを伝える表現に慣れ親しむ活動をしました。

"Mama called the doctor and the doctor said."

"No more monkeys jumping on the bed"

"Three Little Monkeys"の歌を聴き、ジュースや〜しながら授業は英語のリズムを楽しんでいきます。歌に込められたNo more monkeys.のどこまで、歌にできる "Doctor" になっように歌っていました。

"Who likes bonbons?"

好きな食べ物を伝える Sit Down Game を行っています。席に座り、隣の児童のカードを見せ、「Who likes bonbons? Oh, you like bonbons. Here you are!」と聞いて受け取った分だけ取り分ける生徒に、大喜びで「Yum, yum!」と舌つ尻栗の音が聞かれました。

"I like bonbons!"

<5年生> 英語科 「I like~」
好きなスポーツについて、自分の好きなスポーツをポスターに書いて、自分の好きなスポーツについて話せることと英語表現を練習しました。

"Oh! I like tennis. Do you like swimming?"

"Yes! I like swimming."

Hi, friends! Lesson8 「What time do you get up?」
自分の一日のスケジュールを紹介したり、友達のことしらの生活を聞き取りました。David先生の一日の生活をみんなが話さずとも話せました。

外国語活動の発展には二、三の発展で習得が難しいことになり、英語の学習が難しくなると感じています。

5年 Hi, friends! 2 Lesson8 What do you want to be? (職業・将来の夢)

めあて	・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。 【積極的態度】			
	・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【慣れ親しみ】			
	・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を教える際の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。 【気づき】			
単時	1	2	3	4
学習過程	活動例			
	あいさつ			
アクティビティ	Sit Down Game 「やってみよう職業は？」	Sit Down Game 「学校で仕事をしている人は？」	Sit Down Game 「東京動物公園の中で仕事をしている人は？」	Sit Down Game 「言代の中で仕事をしている人は？」
	Song 「My Mother is a Baker」			
レッスンのチャレンジ	Main-1 「先生の夢」	Main-1 「これはだれ?」	Main-1 「これはだれ?」	Main-1 [Activity]
	Main-2 「どんな職業を知っている?」	Main-2 「アニメの登場人物は大きくなったら何になりそう?」	Main-2 「小さいとき何になっていた?」	Main-2 「みんなはどんな仕事をしたいのだろうか?」
	Main-3 [Let's Listen]			
まとめ	振り返り			
	あいさつ			

English Lesson Report の発行

単元の横のつながり (帯活動) と1時間の縦のつながりを見やすくした学習指導案

(1) 外国語活動・英語教育理論研修

～こんなスタンスで、できるところから着実に～

指導者…笠原小学校 教諭
英語教育強化推進リーダー 竹内 知子 先生

「ことばの学び」とは…
何のためにことばを使うのか、何故ことばを使うのか、音声だけの言語もありますが、文字だけの言語はありません。音声だけでたりしている場合は、音声だけが発達します。ことばの始まりは音声です。

「聞くということを探求する」とは…
何をどのように聞かせるのか。
①聞く→話せる…の自然な流れ
本当に聞く価値のあるものを聞かせます。
②インタビューを目的にすると…
言えるように覚えさせようとしてしまい、めあてのねじれが出てしまいます。
③チャッツの落とし穴
英語らしい音の流れになっていないチャッツには気をつける。この時間のこの場だけで通用することば(音の流れ)ではなく、人が人に話をするときに使うことばを大切にします。

英語教育強化推進リーダーを指導者として行った 理論研修

(2) 外国語活動・英語教育実技研修

具体的な活動として…「Hot Potato」を紹介します。
数名で輪になります。One potatoで次の人が右手を重ねます。MOREの時に手を出す人は、下に出ている人の手を叩くようにして出します。
Two potato, Three potato, Four potato, Five, Six, Seven, …MORE 他の方は、手を叩かれないように手を引きます。

手遊びしながら、数の言い方に慣れ親しむことができそうです。

「Sit Down Game」
十分 Input する Sit Down Game を行った後に Output させる Sit Down Game を行います。
質問に答えた児童から着席します。

You like baseball. I like
What sport do you like?
Ok! Sit down.

教師は What~do you (動詞)? と児童に聞き、答えた児童に対して You~, I~, too などと話し、Output を促しながら Input を続けて行きます。

(3) 成果と課題

実技研修

研究主題

ことばの学びを楽しみ、進んでコミュニケーションしようとする児童の育成
～「聞くこと」・「話すこと」を大切に、
コミュニケーションにつなげる授業の工夫～

めざす児童像

低学年・・・歌や絵本を通して英語の音声に慣れ親しみ、伝えようとする子
中学年・・・英語の音声や表現に慣れ親しみながら、ことばの学びを楽しめる子
高学年・・・ことばへの気付きを楽しみ、英語の音声や表現に慣れ親しみながら
進んで表現しようとする子

研究仮説

児童の興味に寄り添った内容で音声から始まることばの学びを進めることで、
①ことばや外国の文化への気づきが生まれ楽しさを感じられる
②音声がたくさん聞かれ、外国語に慣れ親しむことができる
③たくさん聞かれた音声を無理なく話す活動につなげられ、自分のことも伝えたいという
気持ちが高まる
④音声を大切にした学びは児童の文字への興味を引き出し、無理のない文字学習
につながる
これらのことを通して、進んでコミュニケーションしようとする児童が育成される
であろう

研究の内容



「What number do you like?」 の表現に慣れ親しむ授業

「When is your birthday?」 の表現に慣れ親しむ授業

Higashi & Kasahara English Lesson Report
Apr. 2015 Vol. 2. Written by Hibane

文部科学省の英語教育推進地域拠点事業を受け、2020年度英語教科書に向けての研究開発にこの報告書の一冊が用いられました。属する学校・幼稚園学校の交換では、これまでの外国語活動の授業を振り返り、子どもたちが何に興味をもっているのか、何を学んでいるのかの内部を見え、指導法を研究して見ました。更に、英語科としての授業を見学して見ました。一冊見ただけ、子どもたちの顔をみて一年の間に多くのことを覚えてくれていることが実感できます。

「How many elephants do you have?」「Let's count!」「One, two, three, four, five, ...」「Who is happy?」「I'm happy!」「Oh, you are happy! I'm happy, too!」「Who was born in January?」「I was born in January!」「Please sit down!」「OK! Please sit down!」

第3学年 外国語活動 Lesson Plan ⑨

Hi, Friendly 1 Lesson 4 (5/5) | I like apples. (動物・食べ物・スポーツ・生き物・乗り物)
めあて・好きなものや嬉しいのものについて、積極的に伝えようとする。【積極的態度】
好きなものを探る表現に慣れ親しむ。【慣れ親しみ】

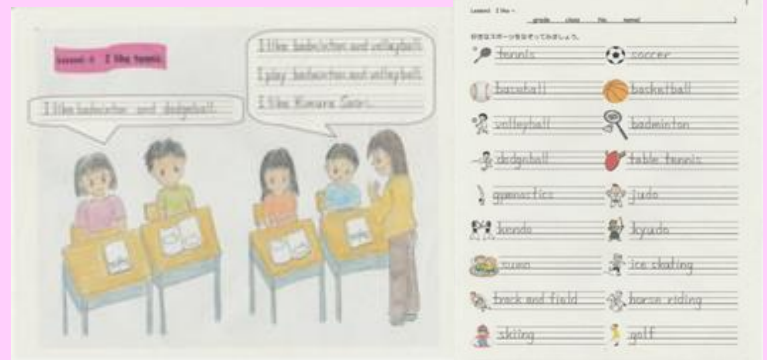
種別	学習内容	HRT	JTE・ALT	教材	種
ウォームアップ	1 あいさつ 担任: "Let's start English lesson." JTE・ALT: "Good morning(Hello),everyone. How are you?" 児童: "I'm fine, thank you ,and you?" JTE・ALT: "I'm fine, thank you."		~		2
	2 Sit Down Game 「好きでない乗り物ゲーム」 好きなスポーツゲーム	「好きでない乗り物」を児童に言わせ、同じ乗り物が好きでない児童は「I don't like car, too.」等と言わせて座らせる。	「Who doesn't like cars?」「Oh! You don't like cars.」「I don't like cars, too.」「OK! Sit down.」CDを再生する。児童とともに歌う。	乗り物カード What's sports do you like? "Oh! You like swimming." "Who likes swimming?" "Do you like swimming?" ない(like)表現を中心に聞かせる。	5
	3 Song 「Pease Porridge Hot」	児童とともに歌う。 ペアになり手遊びをしながら歌わせる。	児童とともに歌う。	CD	5
し	4 Main-1 「Who am I?クイズ」	好きなこと・嫌いなことカードに書かせる。 今日はその人に代わって先生が「私は」と言	「I like swimming.」「I don't like coffee.」「I like green.」	事前アンケート	8

English Lesson Report の発行

児童の回答の幅が広がるように話題を変更するなど、日々、授業改善に努めている。



モジュール授業（ABCタイム）の充実



合同研究会

小学校英語科授業のためのテキスト・ワークシート